

## 第6回東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会議事概要

日 時：令和3年3月11日（木）午後7時～午後7時35分

場 所：東淀川区役所3階区民ホール

### 【議事】

- 1 開会
- 2 会長（区長）あいさつ
- 3 議題  
(1) 令和2年度活動報告について  
(2) 令和3年度の活動方針について
- 4 その他（意見交換）
- 5 閉会

### 《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 協議会座席表
- ・ 第6回東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会資料
- ・ まちづくり構想部会ワークシート、アクションプラン策定イメージ
- ・ 第4回新大阪駅東口まちづくり部会資料
- ・ 地域説明会意見概要

---

## 1. 開会

---

## 2. 会長（区長）あいさつ

---

## 3. 議題

### (1) 令和2年度活動報告について

#### (事務局)

- ・ まちづくり構想部会につきましては、7月、9月、11月、1月と開催した。また、本日の協議会の後、第31回まちづくり構想部会を開催する。
- ・ まちづくり構想部会では、各地域のアクションプラン作成に向けてワークシートを用いて議論を行った。コロナ禍の状況を踏まえ、地域で実施できている事業、形を変えて実施している事業、ストップし実施できていない事業について地域間で情報交換を行った。
- ・ 構想部会のワーキングでは、地域課題について現状整理や今後やりたいことを整理した。今後、バリアフリー構想の9つのテーマから、まず1つのテーマを選び、現在行っている活動、休止している活動、再開できない原因の3つを整理することによって、短期・中期・長期の行動期間の振り分けができると考えている。いくつかのテーマについて行動期間の整理を行うことで、地域のアクションプランのベースが出来上がると考えている。事務局としては、ワークシートを地域に持ち帰りアクションプラン作成へつなげていってほしいと考えている。
- ・ 新大阪駅東口まちづくり部会は昨年10月に第4回部会を開催している。第3回の部会以降、住宅の建替え範囲について検討した結果、余剰地3案を考案した。

- ・ A案、B案については、土地の南側に隣接する東西道路を軸とした配置に、C案については、土地の東側に隣接する南北道路を軸とした配置とした。
- ・ 新大阪駅東口まちづくり部会で検討するまちづくりの範囲について、先ほどの余剰地を含む範囲と、東海道新幹線南側の大阪市と阪急電鉄が所有する土地を含めた範囲としている。
- ・ また、新大阪駅東口まちづくり部会で提案した内容について、西淡路地域活動協議会での説明会を12月に実施し、余剰地3案については継続して協議させてほしいとご意見を頂いた。また、今後の進め方について、次の3点について確認した。
- ・ 1点目は大阪市と地域が協議をして東口まちづくりビジョンを作成すること。
- ・ 2点目はマーケットサウンディングを地域と協議したうえで行うこと。
- ・ 3点目は地域の歴史を尊重したまちづくりを進めること。
- ・ また、来年度は新大阪駅東口まちづくりビジョンを新大阪駅東口部会において検討していくこととした。
- ・ 最後に、まちづくり構想部会では、コロナ禍の状況で、部会員からの意見を会議以外の場でも反映できるツールとして、部会員向けのフェイスブックを新たな活動の場として開設した。

### **(補足及び質疑応答)**

#### **(久教授)**

- ・ コロナ禍のために地域の活動や部会が動き辛くなっている。しかし、コロナ禍をきっかけに新たな地域の作り方、動き方を考える機会になったとも思っている。
- ・ 今後、コロナ禍以外の変化が地域に出てくる。変化が見えてから動くのではなく変化を予想して準備ができればいいと思う。まちづくりの方向性を構想部会などで議論をしているが、これからは地域の住民とも共有をしていきたいと考えている。部会員に中心になって貰う必要はあるが、地域の意見を聞きながら地域内での共有を図って貰いたいと思う。
- ・ 新大阪駅東口については地域からすれば急な話だと思う。地域からこういったまちづくりをしたいと前もって掲示し、大きな構想の中でもきちんと位置付けして欲しいと思う。
- ・ 新大阪駅が出来た時に、西口側の地域は特に大きな影響を受けた。地域がこの時にどのような影響を受けたのか振り返り準備をしておかないと、大きなプロジェクトにまた地域が振り回されてしまう。新大阪駅ができる前とできた後を重ね合わせながら、地域側が前もって考えを持っておくことが大事だと思う。
- ・ 私の祖父も新大阪駅ができる時の区画整理事業で移転をしている。大きなプロジェクトが動く時は特に地域が一丸となる必要がある。

## **(2) 令和3年度の活動方針について**

### **(事務局)**

- ・ まちづくり協議会については、来年3月に各部会の活動報告を予定している。まちづくり構想部会も、2か月に1回、全6回を予定している。また、各地域でのワークショップについては、各地域の部会員と連携を図りながら調整する予定である。

- ・新大阪駅東口のまちづくりについては、新大阪駅東口まちづくり部会で協議したうえで、地域の意見や広く市民を対象にしたアンケートを実施し、新大阪駅東口にふさわしいまちづくりビジョンの検討を行う予定である。

#### **(補足及び質疑応答)**

##### **(委員・部会員)**

- ・新大阪駅東口周辺の議論の中で、今後は地元の意見を聞くようにと話が出ていた。しかし、我々委員や構想部会員は議論に参加できていない。西山区長に地域を代表して、国に構想部会で議論しているビジョンや住民参加について伝えて頂きたい。
- ・令和3年度の活動については、全体のビジョンに沿って各地域のビジョンについて議論を進めていきたい。西淡路地域では新大阪駅東口についての議論が進められ、新庄、豊新地域では保健福祉計画が作成されている。また、啓発地域では新しいビジョンを作りたいという話も出ている。

#### **4. その他（意見交換）**

---

##### **(委員・部会員)**

- ・2点お願いしたい。1点目は阪急崇禅寺駅の西側の未利用地の開発について、地域の要望書を提出している。以前、平成30年に別の未利用地が開発されるとなった時にも、当時地域の要望書を提出していた。各局に出向いて頂き一度説明をして貰う機会があったが、残念ながらそれ以降意見交換等の機会が設けられずに売却された。最終的には売却されるにしても、地域の意見を聞く場を設けて頂きたい。
- ・2点目は2つの市営住宅について、1つの市営住宅が取り壊されて跡地ができる。これの利用については先ほどの未利用地と同様に地域の意見を聞く場を設けて頂きたい。もう1つの市営住宅は建て直しが行われている。この2つの市営住宅の関係で、住民が移転し町会が2つ無くなってしまう。このままでは地域の町会が全て無くなってしまうのではないかと危惧している。

##### **(会長)**

- ・要望書については確認をしている。土地所有者が各局にまたがっている。

##### **(委員・部会員)**

- ・平成30年の時の様なことが起きないように、お互いが協議できるようにしていただきたい。

##### **(会長)**

- ・大きな開発の流れを含めて、地域がまとまって声を上げていくことが大事だと思っている。
- ・平成30年の話については当時の流れを調べているところである。また、相談させていただく。
- ・国の議論の場では夢のような大きな話ばかりがされていた。そのため、住民の話は聞かなくて良いのかと意見を述べた。私から伝える形にはなるが、次回以降意見を伝えられるようになった。

##### **(久教授)**

- ・以前に話をしたかもしれないが、市営住宅の余剰地の検討の場でも委員をしている。市内のいくつかの場所では、マンション業者が入ったとしても、地域と事業者をつなぐための工夫をして貰い売却することもしている。

- ・売却の条件については、行政の中でも議論があると思う。しかし、市有地なので住民のためという考えも大事にして頂きたい。そのためにも土地単位でこうしたいではなく、地域をこうしたいという考えを立てて、まちづくりに貢献するような未利用地の活用ができるといったストーリーにしたい。

**(会長)**

- ・未利用地の活用方針について、売却というゴールは決まっている。ただ売却に至るまでのプロセスで東淀川区のビジョンにどう沿わせるかのストーリーを検討する必要がある。検討したストーリーを大阪市に投げかけ、どういう結果に持っていくのかという流れだと思っている。ストーリーを検討する時に皆さんの知恵を出していただきたいと考えている。

**5. 閉会**

---

- ・次回の開催予定は令和4年3月10日を予定している。

以上